

函館工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	Global English I
科目基礎情報					
科目番号	0027		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	社会基盤工学科		対象学年	2	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	Writing Method Standard (啓林館)				
担当教員	臼田 悦之				
到達目標					
1. 身近な話題ややや社会的な話題で80語程度の英文で自分の考えを書くことができる。 2. 書いた内容に基づき、英語で相手に伝えたり、質問に答えたりすることが間違えながらもできる。 3. タスク・ベースの活動でゴールを達成したり自分の英語を振り返りながら向上させたりすることができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	身近な話題ややや社会的な話題で80語程度の英文で自分の考えを首尾一貫した内容で正確に書くことができる。		身近な話題ややや社会的な話題で80語程度の英文で自分の考えをある程度正確に書くことができる。		身近な話題ややや社会的な話題で80語程度の英文で自分の考えを書くことができない。
評価項目2	書いた内容に基づき、英語で相手に正確に伝えたり、スムーズに質問に答えたりすることができる。		書いた内容に基づき、英語で相手に伝えたり、質問に答えたりすることが間違えながらもできる。		書いた内容に基づき、英語で相手に伝えたり、質問に答えたりすることができない。
評価項目3	タスク・ベースの活動でゴールを達成したり自分の英語を振り返りながら十分に向上させることができる。		タスク・ベースの活動でゴールを達成したり自分の英語を振り返りながら少しでも向上させることができる。		タスク・ベースの活動でゴールを達成できない。また、自分の英語を振り返ることができない。
学科の到達目標項目との関係					
函館高専教育目標 E					
教育方法等					
概要	身近なことややや社会的な内容に関して自分の考えをGlobalな視点で相手に伝え、英語で応答する方法を学習する。他の国の文化に触れたり日本の文化について考えたりしながら、外国人に自分の考えを伝えたり質問に答えたりできる積極的な態度を養う。				
授業の進め方・方法	1. 積極的に英語でコミュニケーションをとろうとする姿勢が必要。 2. 高専2年前期までの英文法・語彙は習得しているものとみなし授業を進める。 3. 授業はライティング活動をベースに、ペア・グループによるコミュニケーション活動を中心に進める。 4. 他国の文化や日本の文化を考え、外国人に自分の意見を発信する機会がある。 5. 予習を必ずやって来ることを前提とするので、学習習慣が不足している者、課題を〆切日までに提出できない者は受講をすすめない。				
注意点	英語である程度コミュニケーションを行うには、英文聞いたり読んだりするなどのインプットが非常に重要であるため、予習・課題・小テストには全力で取り組むこと。評価は定期考査で80%、発表・成果物などで20%とする。遅刻や居眠りなど授業を受けるにふさわしくない態度は減点とする。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス Self-introduction in English	授業の進め方、評価方法などを理解する。 簡単な自己紹介を英語で即興で行うことができる。	
		2週	Lesson 1 Tourism--Topic1 Task 1 (Information-gap)	Tourism Topic 1に関して段階的に自分の考えを整理し、60～80語程度で書くことができる。グループでお互いに発表し合い、質問したり答えたりすることができる。	
		3週	Writing Task 1 (Tourism--Topic 2) ※ライティングテスト	Tourism Topic 2に関して60～80語程度で自分の考えを書くことができ、その内容に関して英語で説明ができ、外国人とやりとりができる。	
		4週	Lesson 2 Life Task 2 (Information-gap)	Lifeに関するトピックに関して段階的に自分の考えを整理し、60～80語程度で書くことができる。グループでお互いに発表し合い、質問したり答えたりすることができる。	
		5週	Lesson 3 Education Task 3 (Zigsaw)	Educationにに関して段階的に自分の考えを整理し、60～80語程度で書くことができる。グループでお互いに発表し合い、質問したり答えたりすることができる。	
		6週	Lesson 4 Work--Topic1 Task 4 (Zigsaw)	Work--Topic 1に関して段階的に自分の考えを整理し、60～80語程度で書くことができる。グループでお互いに発表し合い、質問したり答えたりすることができる。	
		7週	Writing Task 2 (Work--Topic 2) ※ライティングテスト	Work--Topic 2に関して60～80語程度で自分の考えを書くことができ、その内容に関して英語で説明ができ、外国人とやりとりができる。	
		8週	後期中間試験 (Writing Task 3 Topic: Environment)	与えられたTopicに関して60～80語程度で自分の考えを論理的に書くことができる。またその内容に関して外国人とやりとりができる。	
	4thQ	9週	試験返却 Lesson 6 Internet Task 5 (Opinion-exchange 1)	解説を通じて、自分の間違った箇所を理解できる。Internetに関するトピックで80語程度で自分の考えを書くことができ、その内容に関して英語で説明ができ、相手とやりとりができる。	
		10週	Lesson 7 Technology--Topic 1 Task 6 (Opinion-exchange 2)	Technology Topic 1に関して段階的に自分の考えを整理し、80語程度で書くことができる。グループでお互いに発表し合い、質問したり答えたりすることができる。	

		11週	Writing Task 4 (Work--Topic 2) ※ライティングテスト	Technology Topic 2に関して80語程度で自分の考えを書くことができ、その内容に関して英語で説明ができ、外国人とやりとりができる。
		12週	Lesson 8 Social Welfare Task 7 (Decision-making 1)	Social Welfareに関して段階的に自分の考えを整理し、80語程度で書くことができる。グループでお互いに発表し合い、質問したり答えたりすることができる。
		13週	Lesson 9 Traffic Issues Task 8 (Decision-making 2)	Traffic Issuesに関して段階的に自分の考えを整理し、80語程度で書くことができる。グループでお互いに発表し合い、質問したり答えたりすることができる。
		14週	Lesson 10 Daily Problems Task 9 (Decision-making 3)	Daily Problemsに関して段階的に自分の考えを整理し、80語程度で書くことができる。グループでお互いに発表し合い、質問したり答えたりすることができる。
		15週	学年末試験 (Writing Task 5 Topic: Life)	与えられたTopicに関して80語程度で自分の考えを論理的に書くことができる。またその内容に関して外国人とやりとりができる。
		16週	テスト返却 振り返り	解説を通じて、自分の間違った個所を理解できる。授業で学んだことを振り返り、自立的学習計画を立てられる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表・成果物など	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題・小テストなど	合計
総合評価割合	30	0	0	0	70	0	100
基礎的能力	30	0	0	0	70	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0